大田区立雪谷小学校改築事業

基本設計説明会

令和8年9月30日(水)18:00～

大田区教育委員会
大田区

配布資料の複写や転載、インターネット等での公開はご遠慮ください

次第

1. 開会挨拶
2. 出席者紹介
3. 内容説明
4. 質疑応答
5. 閉会挨拶

1. 開会挨拶

大田区教育委員会事務局　教育施設担当課長

雪谷小学校　校長

2. 出席者紹介

3. 内容説明

３　内容説明：説明項目

１　基本構想・計画の振り返り

２　基本設計における考え方

３　全体スケジュール

４　工事ステップ

５　各階平面プラン

1　基本構想・計画の振り返り

背景と現状

校舎の過半が築50年近く経過し、機能更新が必要
令和7年度より全面改築に着手し、現在は基本設計を推進中

改築の目指す姿

教育環境の向上を前提とした「教育と地域力の新たな拠点づくり」

今後の進め方

基本設計をもとに実施設計を行い、順次工事へ着手

1　基本構想・計画の振り返り

改築コンセプト

ふれあい

～自然とふれあい、学びとふれあい、人とふれあう～

1　自然に囲まれ、四季を感じ、豊かな感情を育む環境

2　図書室を中心とした、新たな知識との出会いの場

3　仲間との絆を深め、地域とのつながりを生み出す広々とした空間

1　基本構想・計画の振り返り

改築において

1　工事期間の短縮と敷地内建替え

全体の工事期間短縮を前提とし、学校運営を継続しながら現在の雪谷小学校敷地内で建替えを行います。

2　体育館・校庭の継続利用

工事期間中であっても、体育館や校庭が一切使用できない期間が発生しないよう、適切な工事ステップを計画します。

3　改築後の施設整備とプール運用

改築後は、既存よりも広い人工芝の校庭に加え、本校の特色である天然芝エリアを確保します。なお、プールについては近隣施設を活用いたします。

1　基本構想・計画の振り返り

ゾーニング案

改築コンセプト

1 ：自然に囲まれ、四季を感じ、豊かな感情を育む環境
2 ：図書室を中心とした、新たな知識との出会いの場
3 ：仲間との絆を深め、地域とのつながりを生み出す広々とした空間

配置図・1階平面イメージ

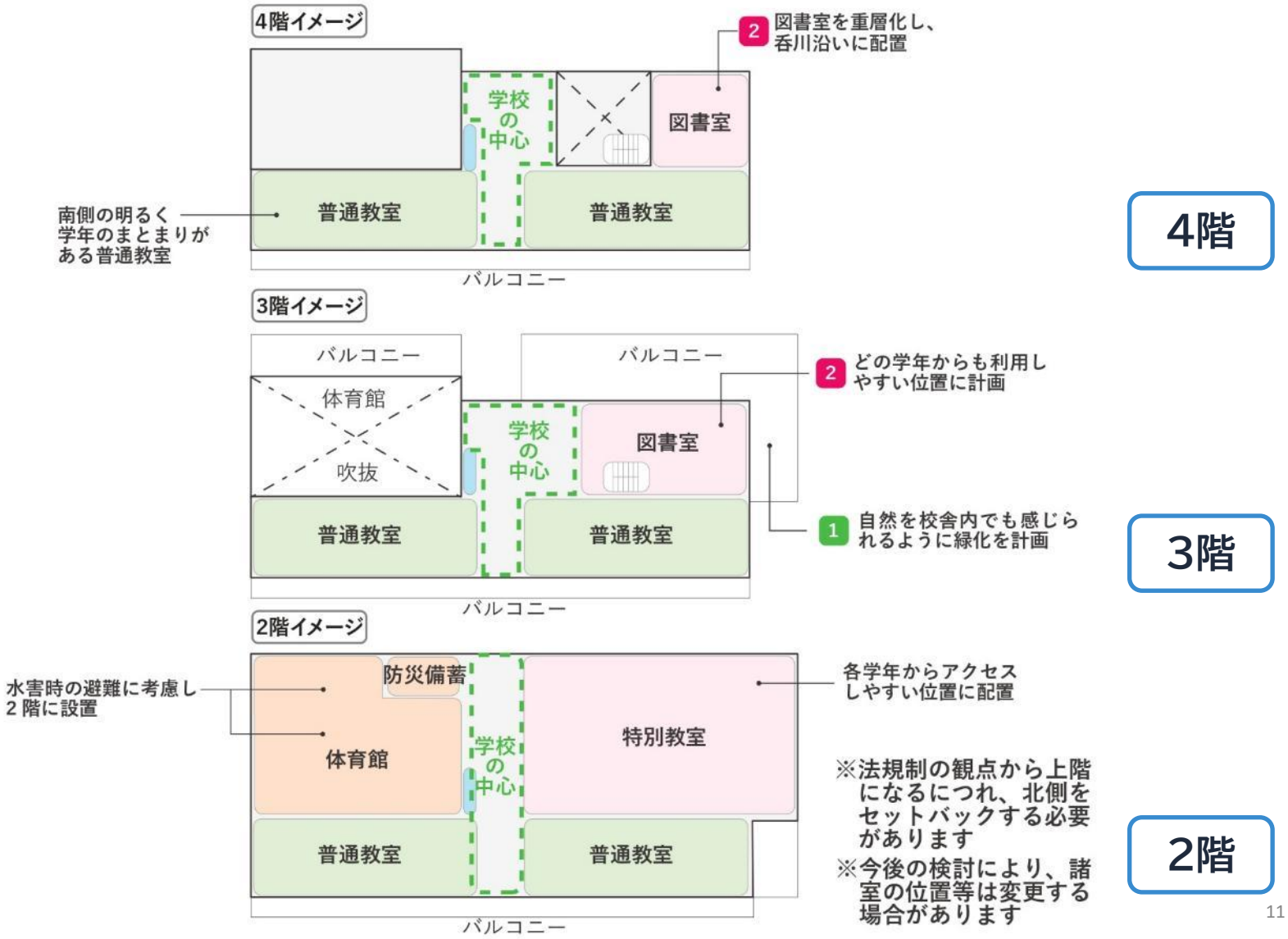


予定建物規模
延床面積：約 9800 ㎡
階　　数：地上 4 階建て（体育館含む）、地下階無し
構　　造：鉄筋コンクリート造

1階

1　基本構想・計画の振り返り

ゾーニング案

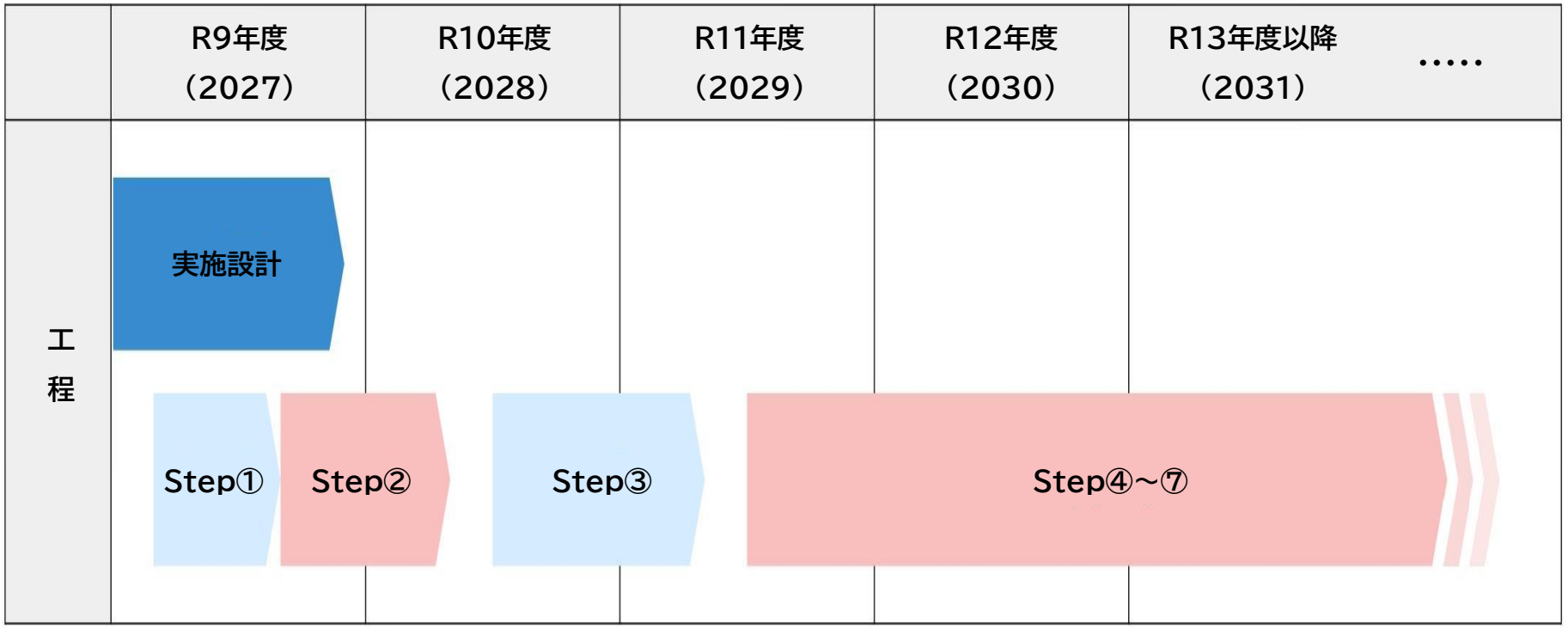


2 基本設計における考え方

コンセプト実現に向けて

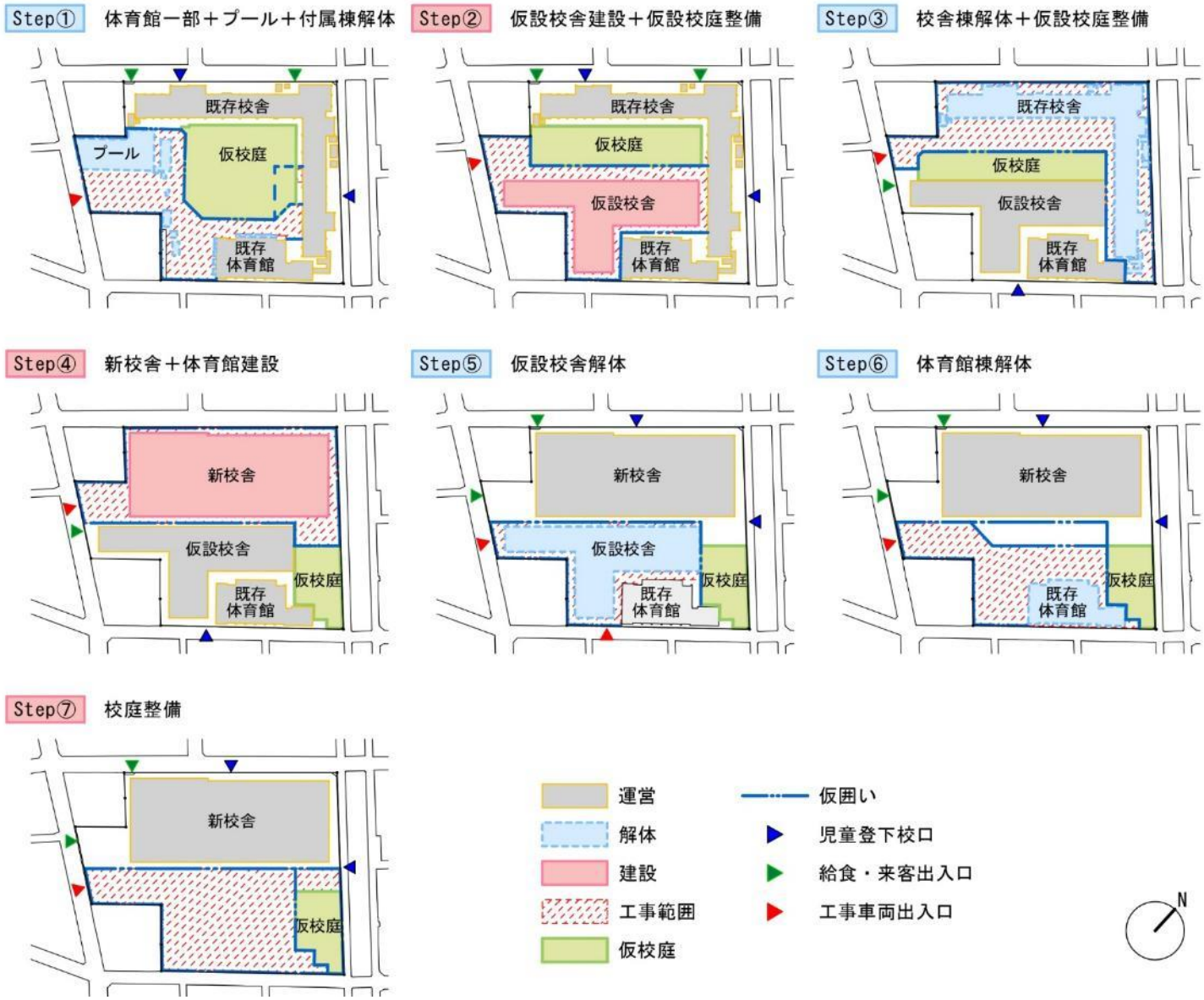
1	児童の快適な学習空間と生活環境の確保	多様な学びに対応ができる図書室や、教科横断的な学びを促す特別教室廻りを計画
2	見通しが良く見守りやすい安心安全な校舎	見通しの良い廊下を計画し、安全性を向上
3	周辺環境や敷地の特色を活かした室配置	桜並木や呑川といった周辺の借景を積極的に取り込める特別教室や図書室を配置
4	地域の方々にも開かれた使いやすい校舎	地域開放諸室を呑川沿いに配置し、中の活動が街へと滲み出し、地域と自然に交流が生まれる計画
5	教職員が快適かつ効率的に働きやすい校舎	職員室、印刷室などを集約し、動線の短縮により校務の効率化を図る

3　全体スケジュール(予定)



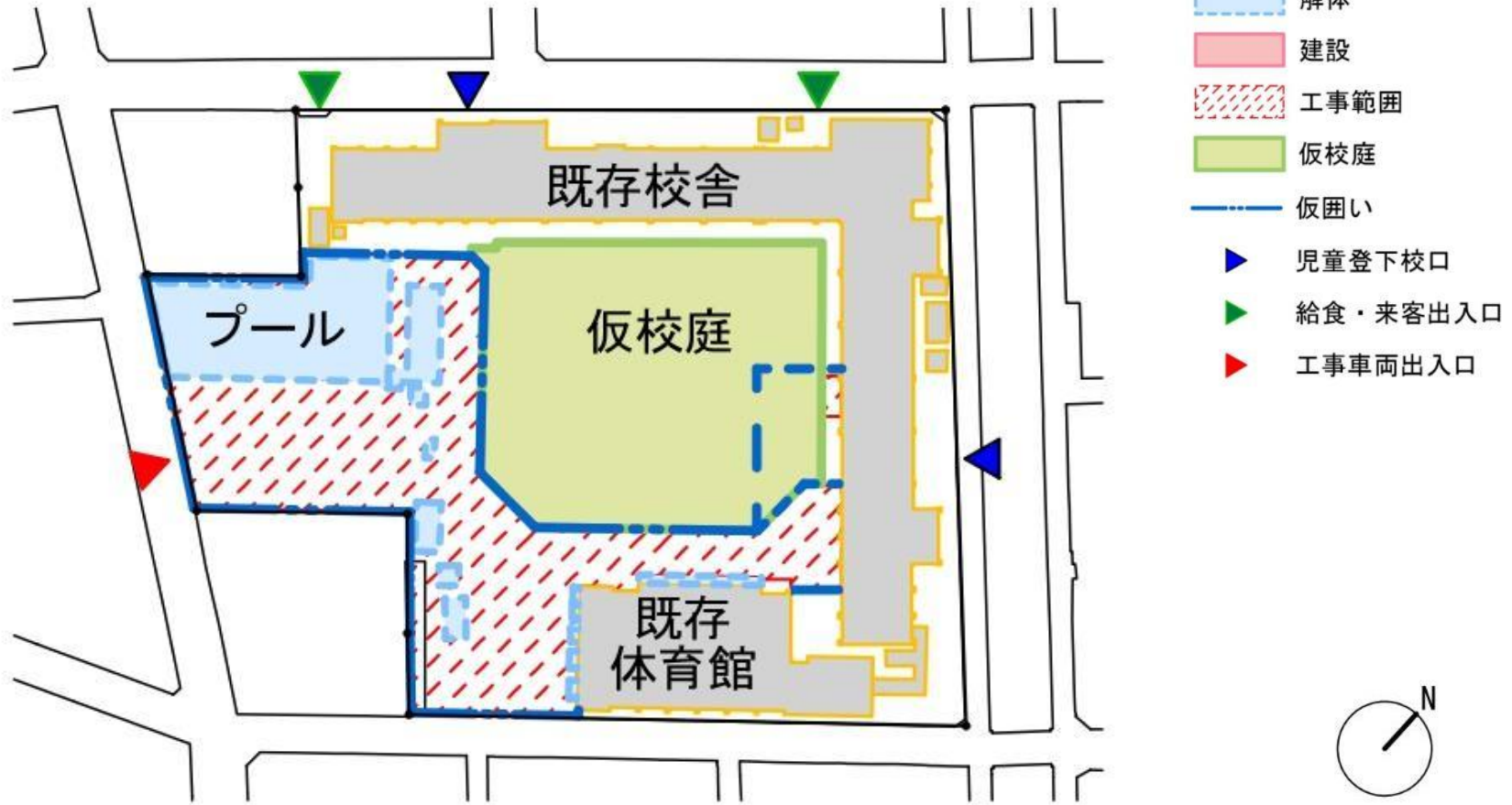
※本スケジュールは現時点での予定であり、
今後の詳細設計や協議等により変更となる場合があります。

4　工事ステップ(①～⑦)


Step①
体育館一部＋プール＋付属棟解体
既存校舎
プール
仮校庭
既存
体育館
Step②
仮設校舎建設＋仮設校庭整備
既存校舎
仮校庭
仮設校舎
既存
体育館
Step③
校舎棟解体＋仮設校庭整備
既存校舎
仮校庭
仮設校舎
既存
体育館
Step④
新校舎＋体育館建設
新校舎
仮設校舎
仮校庭
既存
体育館
Step⑤
仮設校舎解体
新校舎
仮設校舎
仮校庭
既存
体育館
Step⑥
体育館棟解体
新校舎
仮校庭
既存
体育館
Step⑦
校庭整備
新校舎
仮校庭
運営
解体
建設
工事範囲
仮校庭
仮囲い
児童登下校口
給食・来客出入口
工事車両出入口
N

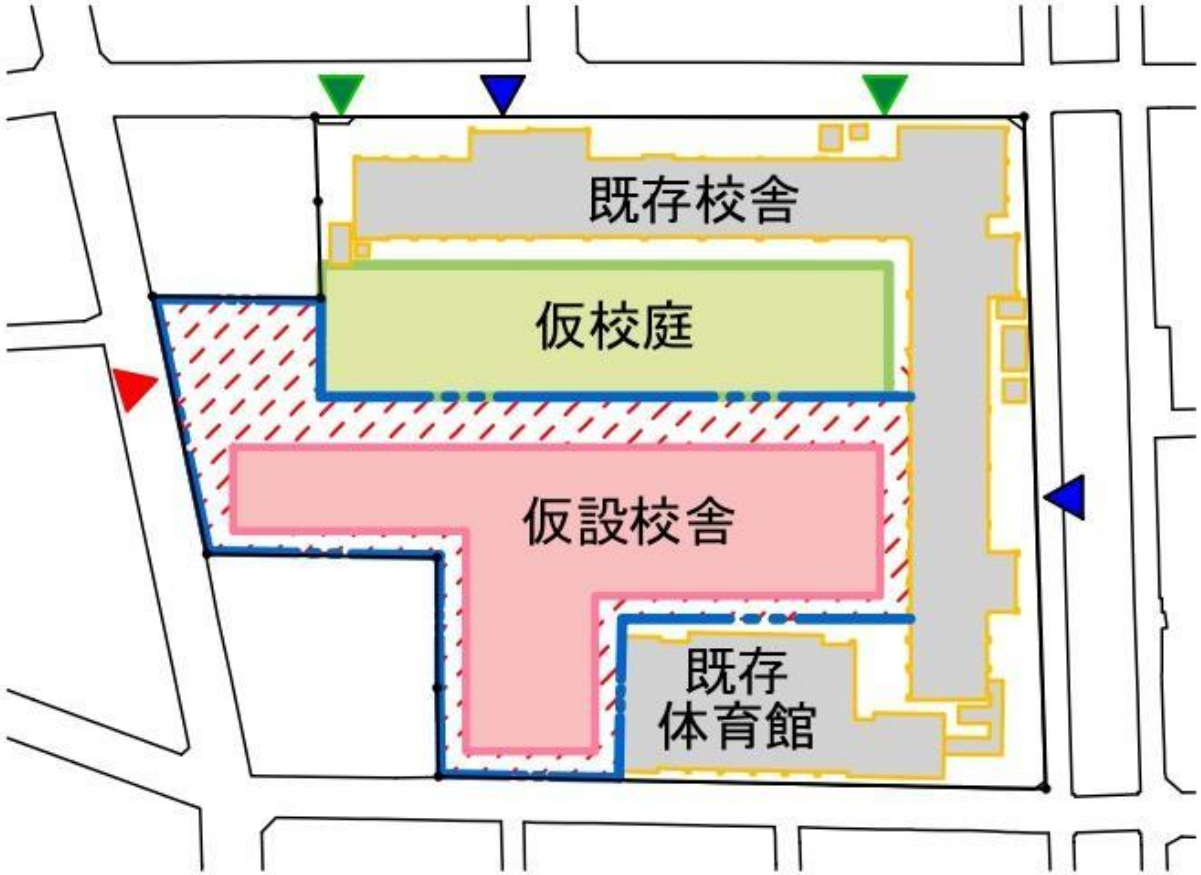
4　工事ステップ(①)

Step①　体育館一部＋プール＋付属棟解体



4　工事ステップ(②)

Step②　仮設校舎建設＋仮設校庭整備

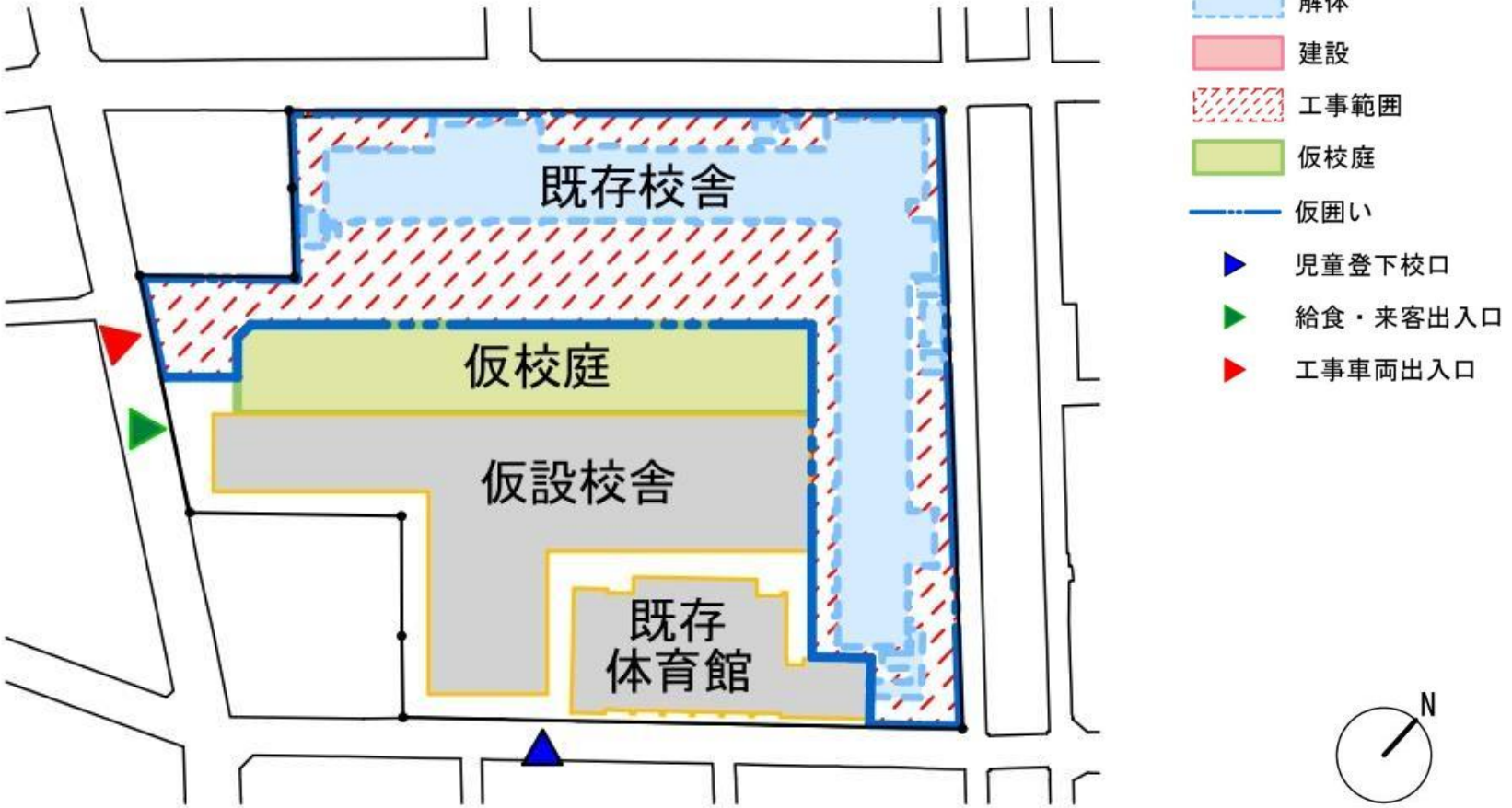


運営
解体
建設
工事範囲
仮校庭
仮囲い
児童登下校口
給食・来客出入口
工事車両出入口

N

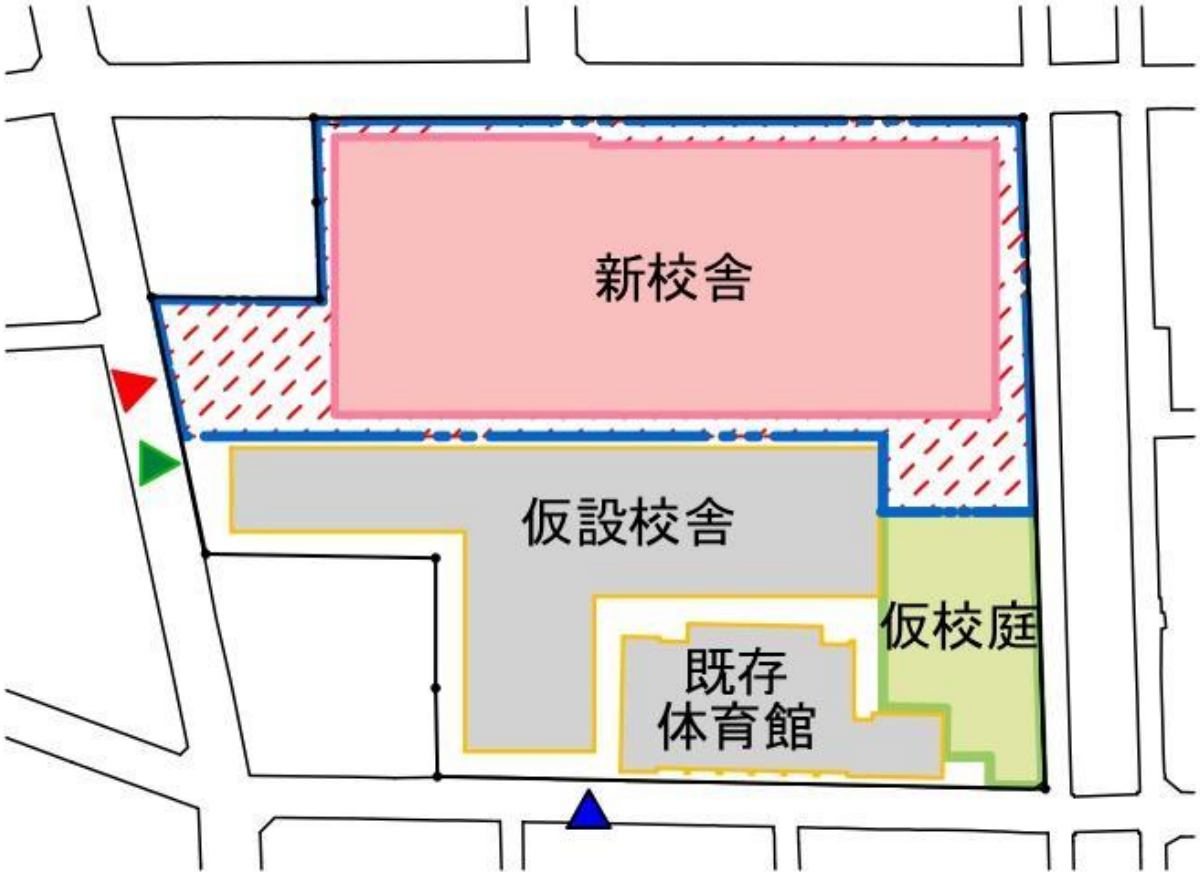
4　工事ステップ(③)

Step③　校舎棟解体＋仮設校庭整備



4　工事ステップ(④)

Step④　新校舎＋体育館建設

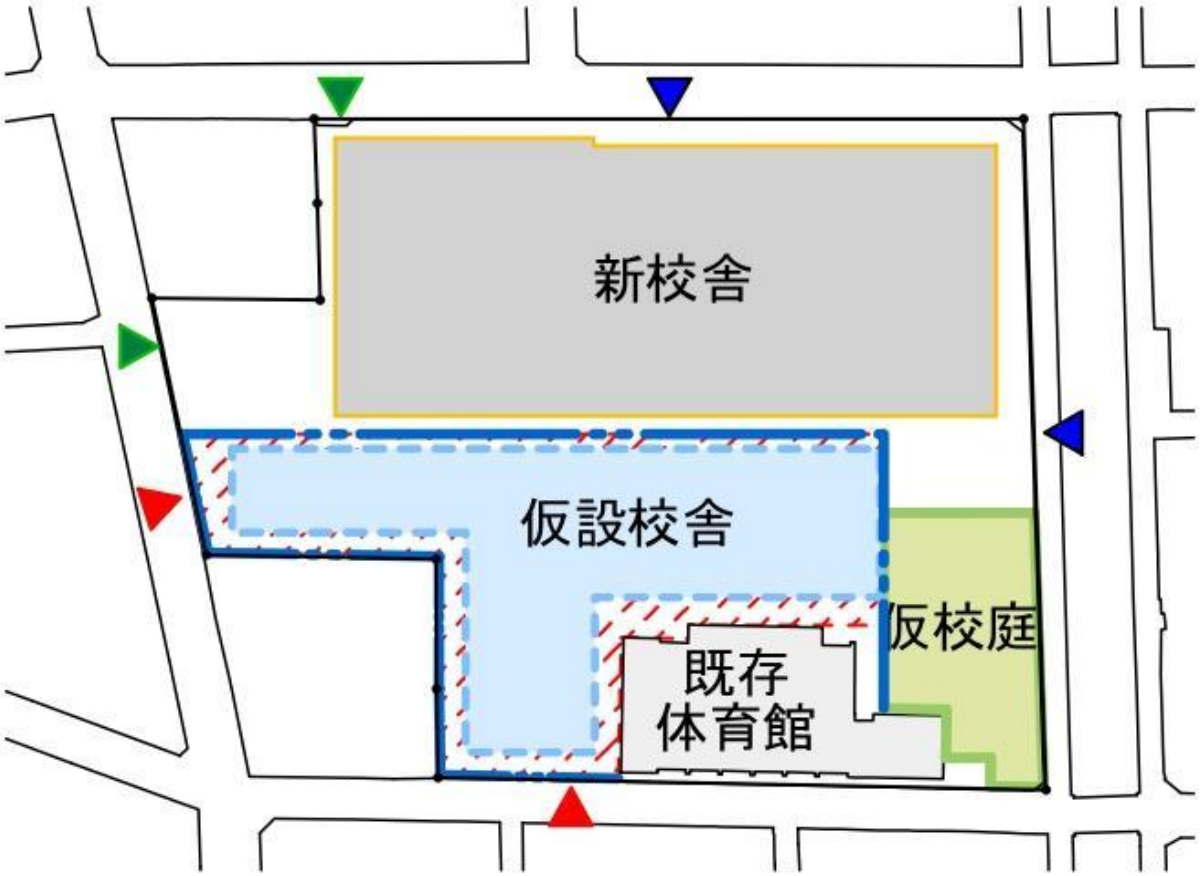


運営
解体
建設
工事範囲
仮校庭
仮囲い
児童登下校口
給食・来客出入口
工事車両出入口

N

4　工事ステップ(⑤)

Step⑤　仮設校舎解体



運営
解体
建設
工事範囲
仮校庭
仮囲い
児童登下校口
給食・来客出入口
工事車両出入口

N

4　工事ステップ(⑥)

Step⑥　体育館棟解体

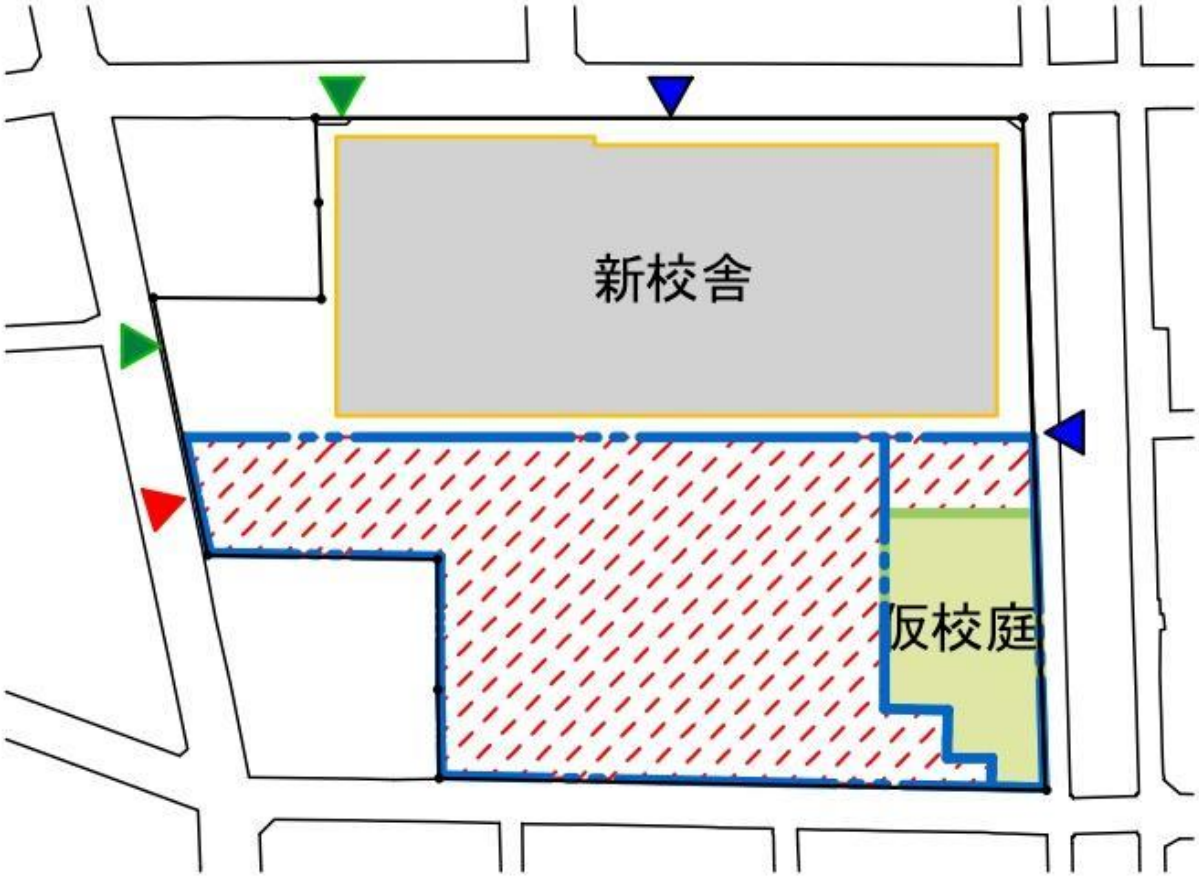


運営
解体
建設
工事範囲
仮校庭
仮囲い
児童登下校口
給食・来客出入口
工事車両出入口

N

4　工事ステップ(⑦)

Step⑦　校庭整備



運営
解体
建設
工事範囲
仮校庭
仮囲い
児童登下校口
給食・来客出入口
工事車両出入口



5　各階平面プラン

■ 予定建物規模

延床面積： 約 9,800 ㎡ ／ **階数：** 地上4階建て、地下無し

構 造： 鉄筋コンクリート造（一部S造）

校庭面積： 約 3,300 ㎡（人工芝＋天然芝プレイコート）

5 各階平面プラン

■ 配置計画

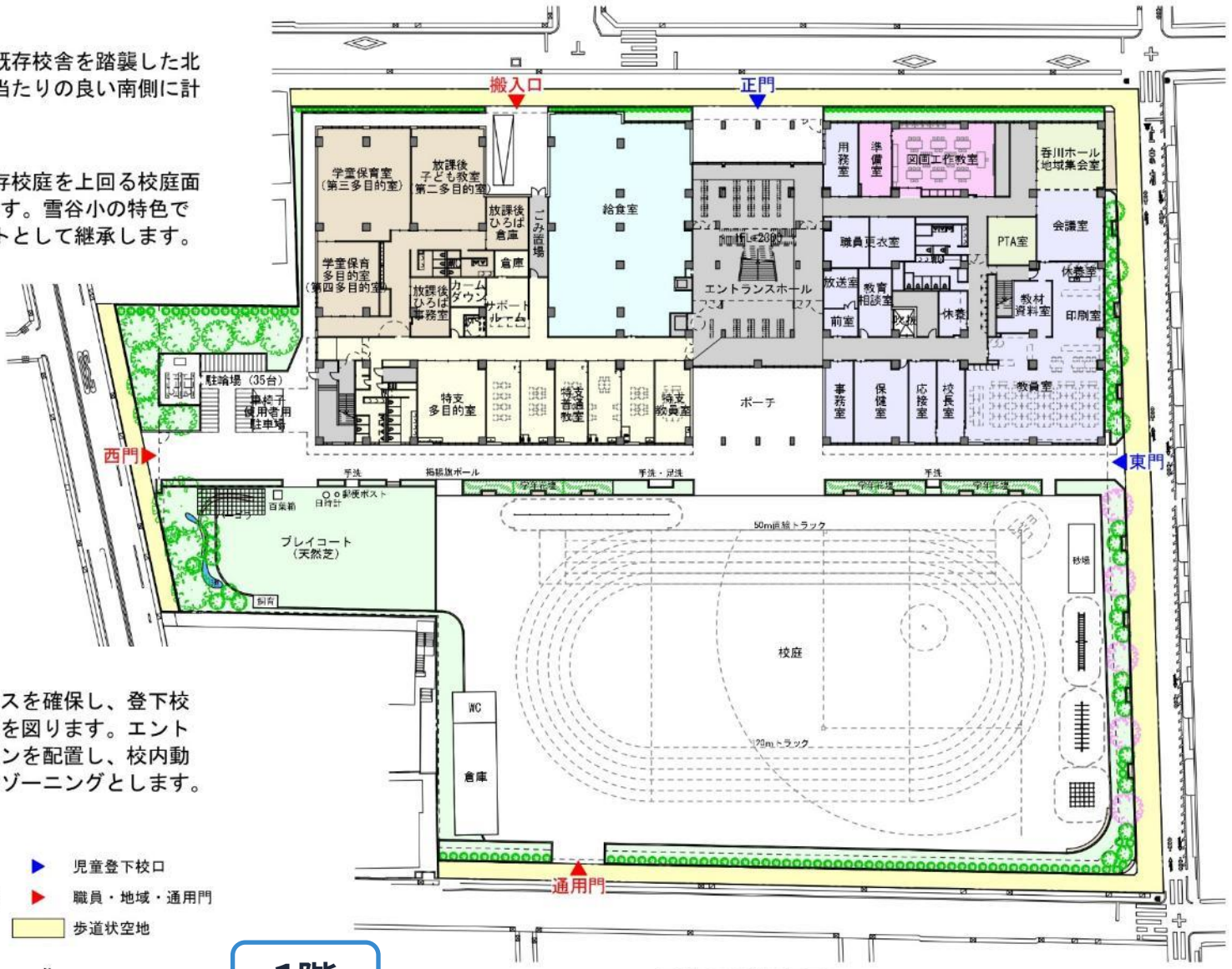
校舎は周辺環境へ配慮し、既存校舎を踏襲した北側配置とします。校庭は日当たりの良い南側に計画します。

1 校庭（外構）

校庭は人工芝舗装とし、既存校庭を上回る校庭面積（約3,300㎡）を確保します。雪谷小の特色である天然芝は、プレイコートとして継承します。

3 昇降口（1階）

昇降口前に十分な滞留スペースを確保し、登下校時の混雑緩和と安全性の向上を図ります。エントランスホールを中心に各ゾーンを配置し、校内動線の起点となる分かりやすいゾーニングとします。



普通教室　管理諸室　児童登下校口
特別教室　体育館諸室　職員・地域・通用門
図書室　学童諸室　歩道状空地
特別支援　給食

0 5 10 20 30 [m]　N

1階

1階平面図兼配置図

5　各階平面プラン

3階

■ 体育館（2階）

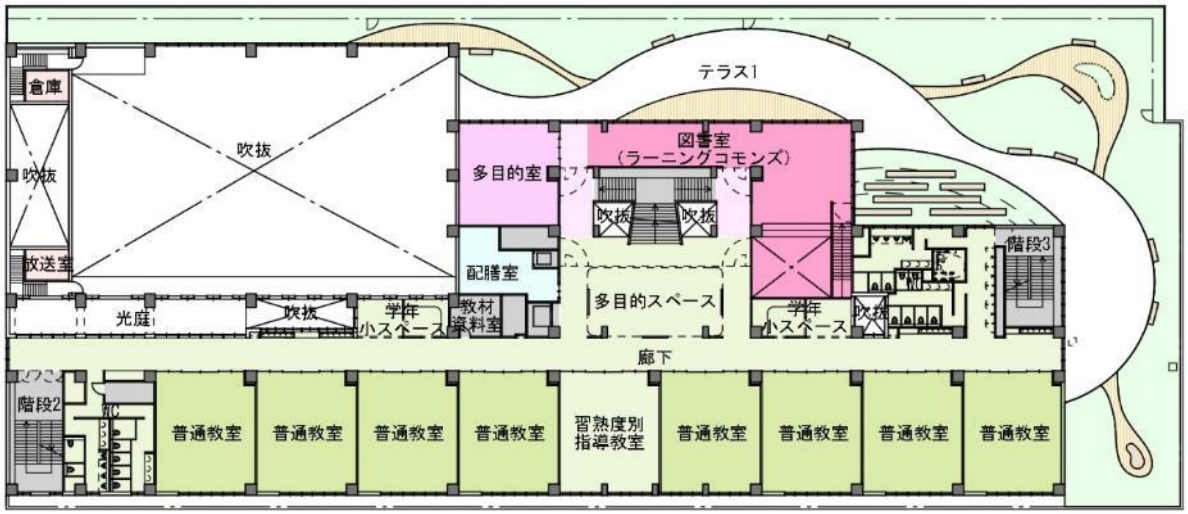
吞川の氾濫による浸水リスクを想定し、地域の防災拠点としての機能を維持・確保するため２階レベルに計画します。

2 図書室（2～3階）

全学年が使いやすい２・３階の学校の中心に配置します。ワークショップの意見を反映した２層吹抜けの計画とし、上下の繋がりや多様な知識との出会いを創出する拠点とします。

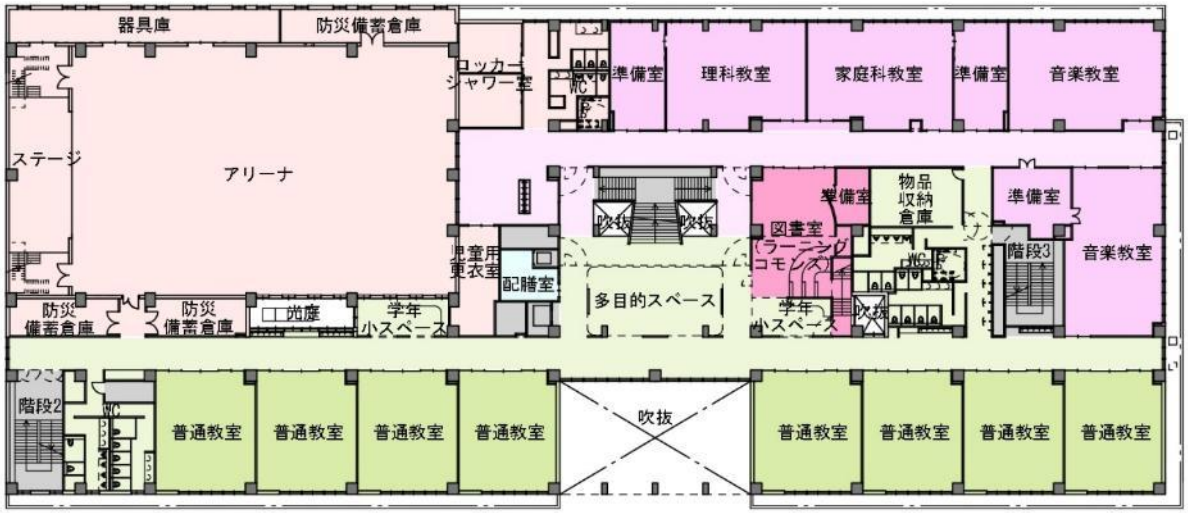
1 屋外テラス（3～4階）

日影規制によるセットバックを活用し、図書室に面した屋外テラスを計画します。読書や屋外学習などを一体的に行える環境を整えます。



３階平面図

2階



２階平面図

普通教室　管理諸室　児童登下校
特別教室　体育館諸室　職員・地域
図書室　学童諸室　歩道状空地
特別支援　給食

0　5　10　20　30［m］

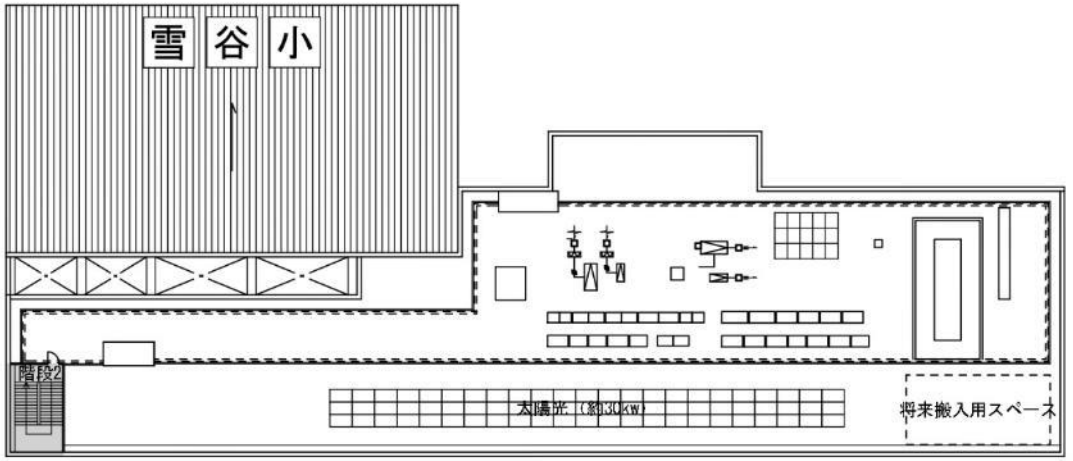
N

5 各階平面プラン

R階

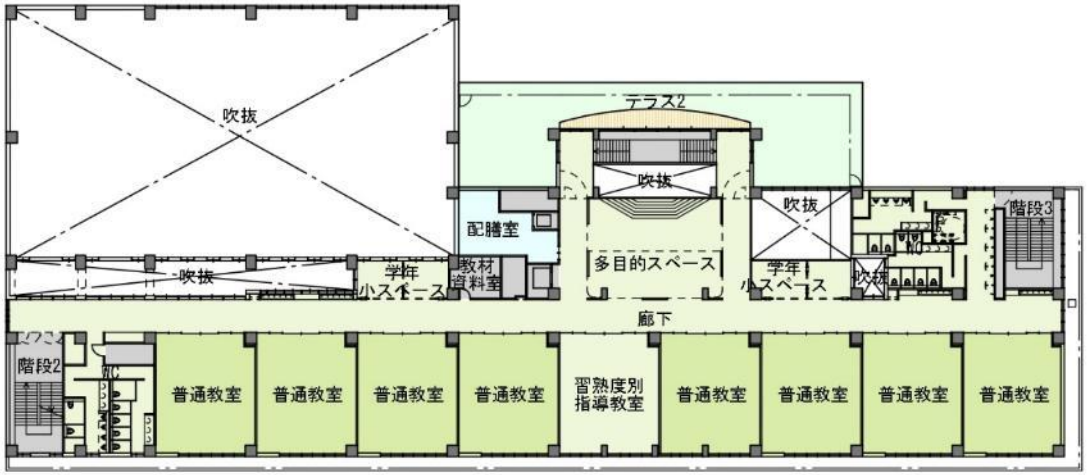
3 多目的スペース・習熟度別指導教室（2～4階）
2学年の中心に計画し、両方から利用できる配置とすることで、学年集会や異学年の交流など多様な学習形態に対応します。

3 普通教室（2～4階）
採光に優れた南側に配置し、他学年の動線と交差しない独立性の高い計画とします。また学年ごとのまとまりを維持し、落ち着いた学習環境を形成します。



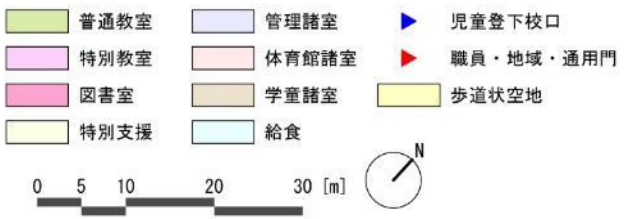
R階平面図

4階



4階平面図

※今後の検討により、諸室の位置等は変更する場合があります。



4. 質疑応答

5. 閉会挨拶

大田区施設保全課　施設調整担当課長

ご清聴ありがとうございました。

【お問合せ先】

〒144-8621
大田区蒲田５丁目13番14　大田区役所8階
大田区企画経営部　施設保全課　施設担当
　電　話：０３－５７４４－１４００
　ＦＡＸ：０３－５７４４－１５３３